

ら抜き言葉を考察する

あなたは「食べれる」派？「食べられる」派？

A study of skipping the 'ra' from the 'rareru' verb conjunction.

Which is correct expression for 'eatable', 'tabereru' or 'taberareru'?

有限会社 アトリエ・ワン

Atelier Bow-Wow

貝島良太

KAIJIMA Ryota

2009年の研究発表（発01）の『「ください/下さい」の使い分け』^[1]、2010年の研究発表（発01）の『助数詞の「ka」』^[2]に続き、今年に可能な意味を表す場合の動詞の「ら抜き」についての考察である。「食べれる」は「食べられる」に直すのが正しいが、「書ける」は「書けられる」とはしない。「ら」を付けた方がいいかどうかの簡単な見分け方は、終止形の「る」の前の語がその動詞の命令形として正しいときは「ら」は不要で、「る」の前の語がその動詞の命令形になっていないときは「ら」を入れなくてはいけない。この簡易判別法を正しいマニュアル表記にも役立てていただきたい。

1. はじめに

一昨年のテーマである「ください/下さい」の使い分けには文法規則があり、本動詞(=giveの意味を持つとき)の漢字(例:パンを下さい)、補助動詞(=pleaseの意味を持つとき)の場合は平仮名(例:どうぞお座りください)にすることを使い分けなくてはならないことを述べた。

昨年は、6ヶ国会議、3ヵ所、5か年計画などで使う助数詞の「ka」は、「ください/下さい」のような文法上の決まりはないが、新聞社や放送局など主要なメディア毎にどれを採用するかが制定されていること。そして、もし自分たちで規則を決めていないのであれば、「か」がよいことをさまざまな事例や意見を提示し述べた。

今年、「見れる/見られる」「食べれる/食べられる」「起きれる/起きられる」などの動詞の可能を表すときの、いわゆる「ら抜き言葉」(以下「ら抜き」と呼ぶ)についての考察である。「ら抜き

はNHKのアナウンサーでさえ、放送の中で「今夜は晴れるので、月食が良く見れるでしょう」などと平気で話しているのを聞くと「ら抜き」の感染力の強さがびっくりすることもしばしばある。「ら抜き」にいちいち目くじらを立てるのはもう多勢に無勢になってしまったのかと思うことすらある。間違っていることを知らなかったり、知ってはいても周りにつられて使う人がいることも事実である。特に、言葉を覚えたての幼児が、父母や幼稚園の先生から「今日はお弁当を残さず食べれましたか」とか「朝、一人で起きれたの、えらいわね」などと普通に話しかけられているのに接すると、思わず大人の教育からやり直さないといけないと感じる。

2. いろいろな解説(ネット編)

まずインターネットで、「ら抜き」について検索してみたところ、実に沢山引っ掛かる(152,000件)。中には2,000文字以上書いて国語学者さながらに

ていねいに解説を展開しているものもある（例：「ら抜き言葉」は本当に「ら抜き言葉」なのか？^[3]や、いわゆる「ら抜き表現」について^[4]）。すべてに目を通したわけではないが、ほとんどは「ら抜き」非難派のようである。しかし、Yahoo!知恵袋のw_arika_wさんからの返事^[5]のように、「ら抜き」は最早、日本全国にみられる現象です。仕方ないです。言葉は生きていますから、変化します。

「ら」付き言葉は、数十年後には古語辞典行きでしょう」のように、すでにどうにもならないとあきらめてしまった人もいる。

また、ikemen_desuga_nanikaさん^[6]のように「ら抜き言葉」非難派は、「ら抜き言葉」の歴史が浅いことを非難するかもしれません。しかし、現実には、「ら抜き言葉」が歴史的に使われている地方もあるそうです。本多勝一『日本語の作文技術』によると、彼の故郷の長野県伊那谷では、「ら抜き言葉」こそが正しい日本語で、可能の意味での「見られる」「食べられる」は、いわば「ら入り言葉」として非難されるといいます」のように、「ら抜き」を賛美する意見の人も少数ながらある。「ら抜き」賛美派の主たる意見は、例えば「食べられる」の場合、可能、受け身、尊敬、自発の4つの意味の中から受け手（読み手、聞き手）側が前後の脈絡から適切な意味を判断しなくてはならないが、いっぽう「ら抜き」の「食べれる」なら可能しかないから、ずっと分かりやすい」というものである。

3. いろいろな解説（権威者編）

インターネットにある記載は玉石混交である。やはり、ここは権威ある発行元（著者）の書籍で「ら抜き」がどう扱われているかを見てみる必要がある。はじめに国語辞書を見てみよう。

[スーパー大辞林3.0]^[7]

【ら抜き言葉】「見れる」「起きれる」「寝れる」「食べれる」「来（こ）れる」など、「～れる」の形で可能の意味を表す下1段活用の動詞をいう。「見られる（ミルの未然形ミ+助動詞ラレル）」「起きられる（オキルの未然形オキ+助動

詞ラレル）」「寝られる（ネルの未然形ネ+助動詞ラレル）」「来（こ）られる（クルの未然形コ+助動詞ラレル）」などのように、「～れる」の形が本来の正しい言い方。「乗る」「釣る」「登る」など5段活用の動詞から生じる下1段活用の可能動詞「乗れる」「釣れる」「登れる」などの影響によるものと考えられている。東京語では、大正の末から昭和の初めにかけて使われ始め、戦後は特に良く使われるようになった。「見る」「寝る」「来（く）る」など、主として語幹が1音節の動詞から生じたものであるが、近年は、「どんな大学でも<受けれる>成績」「朝早くはなかなか<起きれる>ない」などのように、語幹が2音節またはそれ以上の音節の動詞にも及んでいる。⇒れる（助動）・⇒られる（助動）

次に、文化庁発行の言葉に関する問答集の総集編から「ら抜き」についての記述を引用してみよう。

【言葉に関する問答集 総集編】^[8]

〔問〕最近「見れる」という言い方をよく耳にするが、「見られる」の方が正しい言い方ではないのか

〔答〕「見れる」のほかにも似た例として「着れる」「出れる」「寝れる」「来（こ）れる」などの言い方があり、さらには「起きれる」「投げれる」「食べれる」などの言い方も最近良く耳にする。が、いずれも従来は誤った用法とされ、それぞれ「見られる」「着られる」「出られる」「来（こ）られる」「起きられる」「投げられる」「食べられる」が正しい言い方とされている。その理由は、
（1）可能動詞は、4（5）段活用の動詞の仮定形から派生するものに限って認められ（読む⇒読める 書く⇒書ける等）、「見る」「出る」のような上1段・下1段活用の動詞には認められない。

（2）可能の意味を表す助動詞「れる」は4段（5段）活用とサ行変格活用の動詞にだけ接続し、その他の活用をする動詞（上1段・下1段・カ行変格）には「られる」が接続するとされているからである。したがって、小・中

学校の国語教科書などでは、本文中に「見れる」「来(こ)れる」などを使用した例はなく、またほとんどの国語辞書においても、「見れる」「出れる」などを公認したものはない。

(中略)

この「見れる」「来れる」などの言い方は、話し言葉の世界では、昭和初期から一部に使われており、第二次世界大戦後は更に一般化し、最近では、話し言葉だけでなく、書き言葉としてもぼつぼつ使われだしている。例えば、

- ・猛獣がゆっくり見れる 上野動物園 新居ができました (新聞見出し)
- ・一着で二通りに着れる ウィークエンドのおしゃれ着 (新聞広告)

のような例である。

(中略)

以上、「見れる」「来れる」などの言い方がますます一般化している現象は否定できないとしても、学校の教科書や国語辞書の取扱い方、知識人の言語意識などからすると、まだまだ標準的な言い方として位置付けられる段階にまでは至っていないように思われる。

(参考)

中村通夫「<来れる><見れる><食べれる>などという言い方についての覚え書」(『金田一博士古希記念 言語民俗論叢』所収)

『国立国語研究所年報7』所収、「語形確定のための基礎調査」(1-38)

「ら抜き」に関し、金武伸弥氏は「新聞と現代日本語」の中で次のように述べている。

[新聞と現代日本語]^[9]

第6章 文法的な誤り—間違えやすい言葉②

1. 読める『ら抜き言葉』は誤りか

「見れる」「食べれる」という言い方は「ら抜き」で間違いだといわれますが、会話ではたいいていの人が使っています。なぜ誤りなのでしょう。文法的には「見る」「食べる」に「～できる」という可能の意味の助動詞が続く場合は「れる」ではなくて「られる」がつくことになっていま

す。したがって「見られる」「食べられる」が正しいということです。

「れる」がつくのは5段活用動詞(「ナイ」に続く形がア段の動詞=書く→書カナイ、読む→読マナイ)とサ変動詞(する)、「られる」が付くのは1段活用動詞(「ナイ」に続く形がイ段<上1段>かエ段<下1段>の動詞=見る→見ナイ、食べる→食べナイ)とカ変動詞(来る)です。

「信じる」「認める」は「ナイ」に続く形が「信ジナイ」「認メナイ」で1段活用動詞ですから「信じられる」「認められる」と「られる」が付きます。「見れる」「食べれる」と言う人も「信じれる」「認めれる」とは言わない。

(中略)

文法というものは言葉の使われ方を法則化したものですから、実際の使い方が文法と違ってくれば文法の方を改めなければなりません。文化庁の2002年「国語に関する世論調査」でも「来られる」ではなく「来れる」を使うことを言葉の乱れと思う人は3割以下で、7割が「来れる」に抵抗感がないと答えています。また方言としては昔から使っている地方も多いのが現実です。近い将来、「見れる」「来れる」などの「ら抜き」は文法的にも容認されるようになるでしょう。ただ、現在では「誤り」という規範意識が残っており、批判する人も少なくないので、きちんとした文章、改まった場合などには使わない方がよいと思います。新聞でも会話的な、くだけた記事以外には使いませんし、放送でも使わないことになっています。次のような動詞は「ら抜き」の形でよく使われますが、現在のところ「られる」がつくのが正しいことを覚えておきましょう。

上1段動詞=着られる 見られる 降りられる
起きられる 生きられる

下1段動詞=出られる 食べられる 寝られる
受けられる 調べられる

カ変動詞=来られる

(中略)

2. なぜ「書かれる」が「書ける」になったか
 可能の助動詞は「見る」など1段動詞には「られる」が付き、「書く」「読む」など5段動詞には「れる」が付くのが文法的に正しいのですが、「書かれる」「読まれる」ではなく「書ける」「読める」になるのはなぜでしょうか。

昔は可能の意味でも「書かれる」「読まれる」と言っていました(今でも「行く」の可能形は「行かれる」とも言います)。しかし、「れる(られる)」は可能のほかに自発、受け身、尊敬の場合にも使いますので、「～できる」という可能の意味では「書ける」「読める」「行ける」という形(下1段活用する)が派生して、「受け身」「尊敬」などと区別するようになったのです。

(中略)

同じ発音の「きる」でも、「切る」は5段動詞(きら・ない、きり・ます……)ですから可能の形は「切れる」が正しいのですが、「着る」は上1段動詞(き・ない、き・ます……)ですから「着れる」は文法的に誤りで「着られる」が正しいこととなります。

(中略)

⇒「ら抜き言葉」の見分け方

次のうち文法的に正しい可能動詞はどれか。

見れる 切れる 着れる 取れる 食べれる

起きれる 乗れる 寝れる 帰れる 来れる

答えは「切れる、取れる、乗れる、帰れる」が正しい可能動詞。その見分け方は、最後の「る」を取ったとき、正しい命令形になるもの(切れ、取れ、乗れ、帰れ)は元が5段動詞だから可能動詞、それ以外は命令形がおかしい(見れ、着れ、食べれ、起きれ……ではなく、見よ・見ろ、着よ・着ろ、食べよ・食べろ、起きよ・起きろ……が正しい)ので5段以外の動詞で「ら抜き」だから、「見られる、着られる、食べられる、起きられる……」としなければならない。

私はこの金武の解説が実践的で一番分かりやすいと思う。とくに、同音の「切れる」と「着れる」

において、前者はOKで、後者は「ら抜き」なので駄目という説明と、後半の「ら抜き言葉」の見分け方である。この見分け方は、他の説明者が、「よう」が付くなら「られる」も付く。例:見る⇒見よう⇒見られる、「よう」の付かない動詞は「られる」も付かない。例:飛ぶ⇒飛ぼう⇒飛べる」のように記述しているもの^[10]、あるいは、5段活用の語には「ら」が不要で、上1段、下1段、カ変の動詞には「ら」が要るなど、判断に手間取る解説が多い中、秀逸である。

4. さまざまな動詞への適用

それでは金武方式の見分け方を実際の動詞(可能の意味)でいくつか試してみよう。

ら抜き言葉	正誤	終止形	自他・活用	命令形
開かれる	×	開ける	他下1	開けろ
当てれる	×	当てる	他下1	当てろ
歩ける	○	歩く	自5	歩け
言える	○	言う	他5	言え
行ける	○	行く	自5	行け
植えられる	×	植える	他下1	植えろ
受け入れれる	×	受け入れる	他下1	受け入れろ
売れる	○	売る	他5	売れ
起きれる	×	起きる	自上1	起きろ
置ける	○	置く	他5	置け
降りれる/下りれる	×	降りる/下りる	自上1	降りろ/下りろ
折れる	○	折る	他5	折れ
買える	○	買う	他5	買え
飼える	○	飼う	他5	飼え
帰れる	○	帰る	自5	帰れ
書ける	○	書く	他5	書け
勝てる	○	勝つ	自5	勝て
考えれる	×	考える	他下1	考えろ
聞ける	○	聞く	他5	聞け
切れる	○	切る	他5	切れ
着れる	×	着る	他上1	着ろ
来れる	×	来る	自カ変	来い
裂ける(チーズ)	○	裂く	他5	裂け
挿せる	○	挿す	他5	挿せ
しゃべれる	○	しゃべる	他5	しゃべれ
出せる	○	出す	他5	出せ
食べれる	×	食べる	他下1	食べろ
作れる	○	作る	他5	作れ
繋がれる	○	繋がる	自5	繋がれ
繋げれる	×	繋げる	他下1	繋げろ
出れる	×	出る	自下1	出ろ
流せる	○	流す	他5	流せ
投げれる	×	投げる	他下1	投げろ
(～)になれる	○	(～)になる	自5	(～)になれ
握れる	○	握る	他5	握れ
塗れる	○	塗る	他5	塗れ
眠れる	○	眠る	自5	眠れ
寝れる	×	寝る	自下1	寝ろ
練れる	○	練る	他5	練れ
入(ハ)れる	○	入(ハ)る	自5	入(ハ)れ
履ける	○	履く	他5	履け
走れる	○	走る	自5	走れ

外せる	○	外す	他5	外せ
話せる	○	話す	他5	話せ
離せる	○	離す	他5	離せ
(種を)蒔ける	○	(種を)蒔く	他5	(種を)蒔け
曲がれる	○	曲がる	自5	曲がれ
曲げれる	×	曲げる	他下1	曲げろ
負けれる	×	負ける	自下1	負けろ
回せる	○	回す	他5	回せ
回れる	○	回る	自5	回れ
見れる	×	見る	他上1	見ろ
読める	○	読む	他5	読め
別れる	×	別れる	自下1	別れろ
分けれる	×	分ける	他下1	分けろ

まず、さまざまな動詞をすべて「ら抜き」にしたものに正誤の評価を○×で示した。つぎにその動詞の終止形と、その活用を記した。正誤欄に○があるものはすべて5段活用の動詞(すなわち「ら」が不要なもの)である。それ以外の活用(上1、下1、カ変)は「ら抜き」なので×、「ら」を入れなくてはならないものである。表の右端はその語の命令形である。「ら抜き言葉」欄の語から末尾の「る」を取ったものと一致しているものは、正誤欄の○と一致していることが分かる。この命令形による「ら抜き」チェックは、簡単かつ有効な方法なので是非活用していただきたい。

なお、マニュアルなどの産業日本語に多く使われるサ変動詞(加熱する、開閉する、など)については、「ら抜き」はしないで「○○できる」とか「○○可能な」のように表現するのが普通である。

5. 終わりに

用語の表記の統一は、正に、「言うは易く、行なうは難し」である。今回のテーマの「ら抜き」は、わずかな擁護論はあるが、文法に裏打ちされた規則により、排除するべきものであると言わざるを得ない。話し言葉では思わず、「おいしく食べれる・・・」などと思わず「ら抜き」で言ってしまうても、最近のテレビのテロップのように正しく直して書いてあるのを見ると嬉しくなる。原稿でたとえ「ら抜き」があっても、校閲段階で簡単にチェックできる。「ら抜き」は「ください/下さい」の正しい使い分けと同様にマニュアル文章中に正しく表記されていないと、お粗末な文書の品質管理を露呈することになるのでご注意ください。

* * *

【参考文献】

- [1] 貝島良太、有限会社アトリエ・ワン、「下さい」と「ください」を正しく使い分けていますか? — ほかにも「見る/みる」「言う/いう」「置く/おく」などは?—、TCシンポジウム'09論文集 2009、pp. 1-5
- [2] 貝島良太、有限会社アトリエ・ワン、3か所? 3ヶ所? 助数詞の「ka」を正しく表記していますか?、TCシンポジウム'10論文集 2010、pp. 1-5
- [3] Yahoo!ジオシティーズ ことばの散歩道 <http://www.geocities.co.jp/CollegeLife-Labo/6084/ranuki.htm>
- [4] 電脳レストハウス「梅ちゃん堂」 <http://www.umechando.com/view/08.htm>
- [5] Yahoo!知恵袋、w_arika_wさんからの回答 http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/question_detail/q1311211848
- [6] Yahoo!知恵袋、romiko18.jpさんの質問に対する ikemen_desuga_nanikaさんからの回答 http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/question_detail/q1110274891
- [7] 三省堂、「スーパー大辞林 3.0」2007=三省堂、「大辞林 第2版」松村明編 1995、pp. 2679
- [8] 文化庁『言葉に関する問答集 総集編』1995、pp. 540
- [9] 金武伸弥、文藝春秋、文春新書(#366)、「新聞と現代日本語」2004、pp. 159-163
- [10] 「ら抜き」チェック法 飯間浩明、2004. 01. 29、<http://www.asahi-net.or.jp/~qm4h-iim/k981112.htm>

有限会社アトリエ・ワン (Atelier Bow-Wow)
 取締役兼 **SuperHT³** 事業室長 貝島良太
 e-mail: rkajjima@bow-wow.jp
 URL: <http://www.bow-wow.jp/sht3/>
 Tel/Fax: 03-3351-0058